

◆論文発表◆

(*は、財団研究員)

澤岡詩野*「都市部の企業退職男性のコロナ禍における交流と社会活動の手段としてのインターネット受容のプロセス」社会情報学,10(3),1-11,2022.

澤岡詩野*「『弱いつながり』と『インターネットを介した交流』から都市部の高齢者の豊かさを考える」生きがい研究,第28号,32-41,2022.

◆講演など◆

石橋智昭：

- ①千葉県立長狭高校にて介護職員初任者研修「職務の理解」を担当(4/21-22)
- ②亀田総合病院にて職員向け研修「健康寿命・資産寿命・労働寿命」を講演(4/21)
- ③亀田総合病院にて介護職員初任者研修「職務の理解」「介護保険制度」の講師を担当(5/26-27)

澤岡詩野：

- ①「社会学：街に『居場所』を創ろう～コロナ禍の変化から改めて考える」さいたま市さいたまシニアユニバーシティ(2/5、於：東浦和校)
- ②「今だから考えてみよう！ スマホやパソコン“でも”つながる」横浜市磯子区新杉田地域ケアプラザ主催サロン交流会「和ら笑の会」(2/9、オンライン)
- ③「気かけあうことからスタート！～声かけから始まるボランティアと地域のつながり～」長野県木曾ブロックボランティア地域活動フォーラム(2/21、オンライン)
- ④「豊かな地域とは『なじんだ誰か』を創り出すこと～ウィズコロナ時代の地域支援を考える～」横浜市栄区地域支援研修(2/22、オンライン)
- ⑤「見かたを変えればみえてくる！？ 地域をもっと魅力的にする方法」埼玉県富士見市生活支援体制整備事業フォーラム「地域がつながる おとなりフェス」(2/28、オンライン)
- ⑥「地域に『なじんだ誰か』を創り出すには？～コロナ禍のチャレンジから考える～」横浜市都筑区生活困窮セーフティネット会議(3/3、オンライン)

- ⑦「コロナ禍で見えてきたこと、気づいたこと～つながりの中で届けたい、思いやりの心～」横浜市旭区社会福祉協議会2021年度旭区ボランティア・市民活動者向け講座(3/11、オンライン)
- ⑧「今だから改めて考えよう 公園体操という場の『チカラ』」川崎市高津区健やか地域推進事業リーダー交流会(3/15、於：高津区役所)
- ⑨「『ささえあいのタネ』をまくには？～誰かが誰かの『なじんだ』存在に～」横浜市緑区令和3年度長津田ささえあいネット研修会(3/17、於：長津田地域ケアプラザ)
- ⑩「改めて考えてみませんか？～地域をもっと豊かにするための『介護予防』とは」横浜市瀬谷区令和3年度瀬谷区地区社協研修(3/23、於：瀬谷区社会福祉協議会)
- ⑪「あなたの活動をより豊かにするために～コロナ禍から、改めて考えよう～」関東シニアライフアドバイザー協会会員向けボランティアセミナー(4/15、於：飯田橋セントラルプラザ)
- ⑫「みんながワクワクする『居場所』のつくり方～コロナ禍からヒントがみえてくる？」横浜市別所地域ケアプラザ介護予防サポーターステップアップ研修(4/18、於：別所地域ケアプラザ)
- ⑬「改めて考えよう『通いの場』という活動の意味」横浜市保土ヶ谷区「通いの場」グループ活動研修(5/18、於：保土ヶ谷公会堂)
- ⑭「あなたの豊かさが地域を変える 小さな『タネマキ』からはじめよう」横浜市城郷小机地区支え合い連絡会主催 地域のためにわたしが出来ること・したいこと講座(5/21、於：城郷小机地域ケアプラザ)
- ⑮「『自立支援』ボランティアの役割」江戸川区市民大学 江戸川人生総合大学(5/23、於：篠崎校舎)
- ⑯「なぜ『チームオレンジ』が必要な？～まちにいるみんながつながる意味を考える～」横浜市青葉区さつきが丘地域チームオレンジ第1回ミーティング(5/30、於：さつきが丘地域ケアプラザ)

◆寄稿・取材記事ほか◆

澤岡詩野：

- ①国際長寿センター「コロナ・レボリューションーコロナ下で発揮された高齢者のレジリエンスの記録ー」「4章 企業退職男性とICT」(p.27~33)
(3月)
- ②埼玉県富士見市社会福祉協議会の住民向けリーフレット(富士見市生活支援体制整備事業)「つながり つながる ゆるっと地域活動のススメ」の監修・寄稿(4月)
- ③横浜市都筑区社会福祉協議会の住民向けリーフレット「コロナ禍から活動のヒントを探る」の監修・寄稿(5月)

森義博：

(株)セールス手帖社保険FPS研究所「LA情報」;「わが国の人口ー【前編】総人口はピークから200万人減少(2月)、【後編】過去に戻る数字・戻らない数字(3月)」、「親の介護と就労ー【前編】“親の介護期”を支える(4月)、【後編】介護経験者の実態(5月)」

◆その他◆

【動画出演】澤岡詩野：3月に刊行された冊子『コロナ・レボリューションーコロナ下で発揮された高齢者のレジリエンスの記録ー』(国際長寿センター)の内容を紹介する動画に出演(担当：新型コロナウイルス流行と都市部の企業退職男性の交流手段としてのインターネットの活用)

【ダイヤル更新】「社会老年学文献データベース(DiaL)」の第41回更新(新規登録354件)を完了(6/1)。登録論文総数は13,333件です。

財団シンポジウム・パネルディスカッションの動画配信に関するお知らせ

「私たちと親世代の生活をICTで豊かに ~ニューノーマル時代のコミュニケーション~」をテーマにした当財団主催シンポジウム(注)のパネルディスカッションの動画を、期間限定でご希望の方に配信いたします。

1. 動画配信の詳細については、以下の通りです。

①視聴可能期間

・2022年9月30日までです。

②申込方法

・財団代表アドレス(info@dia.or.jp)宛にメールでお申込みください。

③留意事項

・お申込みいただいた方には「視聴URL」と「パスワード」を送信します。(ただし、それぞれ守秘とし、第三者への転送もご遠慮願います。)

2. パネルディスカッション登壇者は以下の通りです。

[パネリスト(登壇順)](※肩書は2022年1月28日現在)

・濱田 築氏(明治安田生命調査部調査G課長)

・片山嗣規氏・橋本みどり氏(なかの生涯学習大学 つなげるサポーター・チームICT)

・竹上恭子氏(東京都三鷹市井の頭一丁目町会会長)

[コーディネーター] 澤岡詩野(当財団主任研究員)

(注) シンポジウムは、第1部(講演「高齢者のICT利用の普及や効用等について」)と第2部(パネルディスカッション)で構成されており、第1部を含むシンポジウム全体については、1月28日~2月10日に動画配信いたしました。今回は、第2部を配信いたします。